

お客さま各位

## 原料費調整制度に基づく平成31年3月検針分のガス料金について

吉田ガス株式会社は、原料費調整制度に基づき平成31年3月検針分の単位料金を1<sup>m</sup>につき19.74円(税込)調整させていただきます。この調整により、標準的なご家庭(1か月に23<sup>m</sup>ご使用)で平成31年2月検針分に比べ、20円(税込)ガス料金の値上げとなります。  
なお、今回の調整は平成30年10月から平成30年12月の平均原料価格に基づくものです。

平成31年3月検針分に適用される料金表  
一般ガス供給約款における料金表 (45Mj) (税込)

	料金表A 0～9m3	料金表B 9～23m3	料金表C 23～62m3	料金表D 62～151m3	料金表E 151m3～
基本料金	919.08円	1,512.00円	1,620.00円	1,814.40円	1,846.80円
平成31年3月従量料金	259.61円	197.76円	193.26円	190.14円	189.93円
平成31年2月従量料金	258.73円	196.88円	192.38円	189.26円	189.05円

標準家庭における当月ガス料金 (税込)

	平成31年3月	平成31年2月	増減額
1ヶ月あたりガス料金	6,060円	6,040円	20円

注) 1. ガス料金(早収料金) = 基本料金 + (従量料金 × ご使用量) 1円未満端数切捨  
2. 標準家庭での使用量は、23<sup>m</sup>/月(当社の家庭用平均使用量)として算定しています。

原料費調整額の算定 (平成31年3月検針分)

基準平均原料価格	41,570円/t	平成28年10月～平成28年12月期
LNG輸入価格平均値(貿易統計値)	64,620円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年10月～平成30年12月期
プロパン輸入価格平均値(貿易統計値)	67,980円/t (10円未満 四捨五入)	平成30年10月～平成30年12月期
平均原料価格	66,360円/t (10円未満 四捨五入)	= LNG輸入価格平均値 × 0.9771 + プロパン輸入価格平均値 × 0.0474
原料費変動額	24,700円/t (100円未満 切り捨て)	= 平均原料価格 - 基準平均原料価格
原料価格が1トン当り100円変動した場合のガス料金1 <sup>m</sup> 当りの価格変動額	0.074円/m <sup>3</sup>	45MJ
平成31年3月検針分 調整額(税込)	19.74円/m <sup>3</sup> (小数点第3位切り捨て)	= 24,700 × 0.074円 ÷ 100円 × 1.08(税込)
対前月 調整額(税込)	0.88円/m <sup>3</sup>	= 当月調整額 - 前月調整額

注) 1. 原料費調整制度とは、経済情勢の変化を迅速に反映した料金とするため、原料費の変動に応じ毎月料金を見直す制度です。  
2. 基準平均原料価格は平成28年10月～12月期の輸入液化天然ガス価格(40,560円/t)、輸入液化プロパン価格(40,920円/t)に上記平均原料価格と同様の係数を乗じております。

以上